

# 研究指導の概要

## ■ 情報理工学位プログラム

【課程：博士後期課程】

学年	学期 モジュール	研究内容及び指導方法等		
1 年 次	春	A	・指導教員との議論を通し、博士課程での研究構想を決定する。併せて関連研究を調査する。 ・CS研究セミナーに参加し、情報理工学分野の最新の研究について知るとともに、自身の研究発表に対するフィードバックを得る。	
		B		
		C		
	秋	A		・指導教員との議論を通し、研究を実施する。
		B		
		C		
2 年 次	春	A	・指導教員との議論を通し、研究を実施する。	
		B		
		C		
	秋	A		・指導教員との議論を通し、研究を実施する。
		B		
		C		

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
3 年 次	春	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導教員との議論を通し、研究を実施する。</li> <li>・一連の研究成果を俯瞰的な視点から取りまとめ、予備審査に向けて準備する。</li> </ul>
		B	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・達成度評価の中間評価を実施し、これまでのコンピテンスの習得状況と今後の学</li> </ul>
		C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・達成度評価は、主指導教員＋副指導教員＋学生本人の3名によるディスカッションにより実施する。）</li> </ul>
	秋	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導教員との議論を通し、研究を実施する。</li> <li>・一連の研究成果を博士論文として取りまとめるとともに、予備審査および公聴会に向けて発表準備を行う。</li> <li>・学位論文の予備審査を実施し、審査教員から研究発表へのフィードバックを得る。</li> </ul>
		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学位論文の公聴会を開催する。</li> </ul> <p>【評価】</p>
		C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学位論文の予備審査を通し、公聴会（最終審査）を実施できる水準に至っていることを確認する。</li> <li>・学位論文の最終審査を通し、博士論文が公表できる水準に至っていることを確認するとともに、修了に必要なコンピテンスを満たしていることを確認する。</li> </ul>